

# 株式会社アルボカンパニー 環境行動計画

平成23年6月17日

## 取組方針

当社の経営理念である「環境を大切にして、自然と人間が共存しながら地域に貢献してゆき、人と自然の生活環境のよりよい調和をめざす」に基づき、地球環境の保全を最重要課題と認識して、環境保全を企業文化と捉え、推進致します。

- 1 循環型企业形成をめざす・・・可能な限り、再利用を進め廃棄物を最小限にする。
- 2 省エネ、省資源化を薦める・・・環境負荷を出来る限り知恵と工夫により低減する。
- 3 環境にやさしい商品の開発、製造、販売、施工を実践しつつ、環境保全への社会的啓発活動に参画していきます。
- 4 環境方針の開示を求められた場合は公開する。且つ、全従業員に周知徹底致します。
- 5 目的目標を設定し、定期的に改善を図ると共に、環境マネジメントシステムの継続的レベルの向上に努めます。
- 6 「もったいない！」をキーワードにして、社長を中心に従業員一同、ネーチャーカンパニーを目指します。

平成23年6月17日

株式会社アルボカンパニー

代表取締役社長 汐井 俊彦

### 3 環境負荷の低減目標

当社の事業活動に伴う環境負荷の低減目標は次の通りです。

※基準値の年度は過去2年の内で負荷量の少ない方とする

#### 【目標1】資源や材料の再利用を進め、可能な限り廃棄物の量を削減する

- 紙ごみの排出量を前年度を基準にして5%以上削減する

基準	359(kg)	→	目標	341(kg)
----	---------	---	----	---------

- ジェルトン芯くずのリサイクルにより、天板作成時の使用量を2.2本/m<sup>2</sup>を基準として12%削減し、産廃として排出される量を減らす

基準	2.2(本/m <sup>2</sup> )	→	目標	1.936(本/m <sup>2</sup> )
----	------------------------	---	----	--------------------------

#### 【目標2】事業活動に伴う環境負荷(CO<sub>2</sub>排出・水使用量)を削減する

当社は10年以上前より自動車燃料及び電力消費量等の削減に取り組んでおり、更なる大幅削減は困難である為、現状を基準値とし、その維持に努めます  
ただし、電力においては現在粟崎工場に太陽光発電とソーラーシステム、LED蛍光灯の導入を検討しており、実現すれば試算上では購入電力で2万KWh(11,200kg-CO<sub>2</sub>)/年、LPガスで60m<sup>3</sup>(372kg-CO<sub>2</sub>)/年の計11,572kg-CO<sub>2</sub>/年を削減出来る見込みです

- 自動車燃料に由来するCO<sub>2</sub>排出量は基準値を上回らないよう維持する

基準・維持目標値	: 45,737(kg-CO <sub>2</sub> )
----------	-------------------------------

- 電力消費量に由来するCO<sub>2</sub>排出量は基準値を上回らないよう維持する

基準・維持目標値	: 38,048(kg-CO <sub>2</sub> )
----------	-------------------------------

- 水の使用量を前年度より1%減の293m<sup>3</sup>にする

基準	296(m <sup>3</sup> )	→	目標	293(m <sup>3</sup> )
----	----------------------	---	----	----------------------

#### 【目標3】環境にやさしい商品の開発、製造、販売、施工を実践する

- 太陽光発電システムや電化・省エネ商品等のCO<sub>2</sub>排出抑制効果のあるものの年間売り上げ件数を前年目標5件から7件に増やす

基準	目標5件	→	目標	7件
----	------	---	----	----

## 4 環境保全に向けた具体的な取組

### 【取組1】資源資材のリサイクルと廃棄物量の削減

#### 紙ごみ排出量の削減

- ・ 電子情報管理への切替による紙媒体使用減
- ・ 社内用の印刷やコピーには使用済み用紙の裏面を使用する
- ・ 不要カタログ・チラシ等の受取拒否
- ・ 紙ごみを種類別に集計し月毎に対策を立てる
- ・ 包装用ダンボールの再利用

#### ジェルトン芯くずリサイクル化による産廃削減

- ・ 芯くず用の「再利用ボックス」を設け保管して再利用する
- ・ 使用寸法毎に内訳(%)を出し、部署内で情報を共有する

#### 木工部工場から出る端材をリサイクル加工し、余す所無く利用する

- ・ 端材を木工教材に加工し自社等で木工教室を催している
- ・ 端材を箸製造業者へ持ち込み、材料利用してもらう
- ・ 残った端材や木粉は自社工場で人工薪(バイオマス燃料)に加工、自社での消費や薪ストーブ顧客へのサービスとして進呈

#### 廃棄物分別の徹底

- ・ 金属ごみは専用の置き場に分別、金属リサイクル業者へ出す
- ・ 当て板や破損、端材の石膏ボードは製造メーカーへ返却する

### 【取組2】自動車燃料と電力、水使用の削減

#### 自動車消費燃料の削減

- ・ 低燃費車導入と運転者の安全・エコドライブ意識の向上
- ・ ルートや作業効率の向上による省エネ配送の実施

#### 電力消費量の削減

- ・ 不良蛍光灯取替えと不要時の消灯実施(事務所・倉庫・工場)
- ・ 窓の断熱化(断熱くん)による冷暖房効率向上でエアコン電力4割削減済
- ・ 薪ストーブ(木質バイオマス燃料)使用による湊本社の灯油ゼロ化済

- ・ 湊本社での太陽光発電とソーラーシステムによる自然エネルギー活用  
(財団法人JETの金沢市太陽光発電年間発電量データは当社より提供)
- ・ 夏季冬季はエアコンフィルターを月に一度清掃する
- ・ パソコンやコピー機等での省電力機能の活用
- ・ 夏期冬期の空調温度管理  
夏季(7月～9月)は28℃以上、冬季(10月～翌年4月)は26℃以下

#### 水使用量の削減

- ・ トイレ等に節水励行の注意書きを掲示
- ・ 社内施設の定期的な漏水点検を行う

#### 【取組3】省エネやCO<sub>2</sub>削減効果のある「エコ商品」販売の強化

- ・ 取引先訪問時の販売提案とエコに関する情報の提供を行う
- ・ 太陽光発電システム販売事業の強化
- ・ 社内や取引先とで共有できる販促用ツール・資料の作成

### 5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、定期的に取り組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。